

平成22年度江南市社会福祉協議会事業報告

[総括]

近年、社会福祉を取り巻く環境は職場、地域社会や家庭環境が大きく変容し、「新たな貧困」「無縁社会」「消えた高齢者問題」等、福祉ニーズの一層の多様化、複雑化が進んでいます。

このような状況を踏まえ、本会は限られた人材と財源等を最大限に活用し、総合的かつ計画的な事業の実施に向けて検討を重ね、新規事業の立ち上げや既存事業の機能強化を行ってまいりました。

また地域住民の多様な福祉ニーズに応えるため、本会が実施する事業と関係機関が実施する様々な活動と連携・協働し、平成22年度からの5年間を計画期間とした「第2次江南市地域福祉活動計画」に基づきながら、全ての人々が地域の中でいきいきと安心して暮らすことができるように、次の重点目標および各種施策・事業の拡充に努めました。

[重点目標の実施状況及び成果]

1. 時代の変化に即した福祉サービスの提供体制の構築

(1) 実施状況

本会は社会福祉法に規定された地域福祉を推進する団体として、地域福祉活動への住民参加の促進やボランティア活動の振興、小地域活動ネットワークについて検討、事業の実施を促進し、また利用者本位の福祉サービス提供体制に努め、新たな福祉ニーズに応えるための新規事業の立ち上げを実施した。

(2) 成果及び今後の対応

○江南市地域包括支援ネットワーク会議と協働し、「江南認知症家族会」の立ち上げや、認知症サポーター養成講座の講師役としての「江南認知症キャラバンメイト養成研修」に関わり、認知症の方が地域で暮らすための必要な支援体制について検討し、今後も継続的に協働していくこととなった。

○「障がい福祉地域支援会議」を設置し、福祉施設、関係機関と障がい児・者の地域課題や解決方法を検討し、「社会資源マップ」の作成や事例検討を重ねて地域課題を解決するための仕組みづくりの具現化を図り、今後も継続実施していくこととなった。

○共同募金の効果的な配分として公募制地域活動支援事業による公開プレゼンテーション審査会を行い、多数の団体へ助成することができた

○地域福祉サービスセンターの機能強化として、成年後見センターの立ち上げを検討し、設立準備会を経て、平成22年11月に「江南市成年後見センター」を立ち上げ、後見業務を開始した。

2. 住民参加による地域福祉の推進

(1) 実施状況

住民参加による地域福祉の推進を図るため、民生委員児童委員協議会、区長・町総代、共同募金委員会を始めボランティア組織等各種民間団体及び福祉施設と連携し、事業の効果的な推進に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

- ふれあい・いきいきサロン（地域の生きがい・つどい場所づくり）が地域住民からの相談により新規開設ができた。
- 福祉教育プログラム開発事業として、江南市立門弟山小学校にご協力をいただき、総合的な学習の時間のサポートとして、多種多様な福祉教育プログラムを実施することができ、今後は事例集の作成を通じ、プログラムの周知を検討していくこととなった。
- 第2次江南市地域福祉活動計画の普及として概要版を作成し全戸配布を行い、周知するとともに、実施計画の進捗状況や活動評価をすべく、「江南市地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、検討を行った。

3. 良質な福祉サービスの提供支援と福祉人材の確保と養成

(1) 実施状況

個人の尊厳を基本とし、利用者の利益を保護し、質の高いサービス提供に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

- 介護保険法及び障害者自立支援法の指定訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者として、ホームヘルパー及びケアマネージャー等の人材確保及び研修を実施し、サービスの向上に努めた。
- 介護職員の処遇改善に努め、賃金改善や研修、職場環境の改善を行った。

4. 法人経営基盤の強化

(1) 実施概要

経済社会情勢の変化に対応した主体的な法人経営に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

- 区長・町総代にご協力をいただき、社協会費の財源確保に努めた。
- 指定管理者として、老人福祉センター及び中央コミュニティセンターの適切な管理・経営を行った。

[各種施策及び事業]

1. 法人運営事業

本会の法人運営の基盤強化や円滑な運営、公聴広聴活動に努めた。

(1) 理事会・評議員会及び監事会開催状況

理事会

会議区分	開催日時 開催場所	議 題 等
第1回 理事会 出席12名 欠席3名	平成22年 5月21日(金) 江南市民体育会館	第7号 評議員の選任について 第8号 福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の選任について 第9号 平成21年度事業報告について 第10号 平成21年度一般会計収支決算について
第2回 理事会 出席11名 欠席4名	平成22年 12月21日(火) 江南市民体育会館	第11号 評議員の選任について 第12号 理事、監事及び評議員選任規程の一部改正について 第13号 経理規程の一部改正について 第14号 非常勤ヘルパーの雇用に関する就業規則の一部改正について
第3回 理事会 出席13名 欠席2名	平成23年 3月15日(火) 江南市民体育会館	第1号 平成22年度一般会計収支補正予算(第1号)について 第2号 平成23年度事業計画(案)について 第3号 平成23年度一般会計収支予算(案)について

評議員会

会議区分	開催日時 開催場所	議 題 等
第1回 評議員会 出席30名 欠席10名	平成22年 5月28日(金) 江南市民体育会館	第6号 理事の選任について 第7号 平成21年度事業報告について 第8号 平成21年度一般会計収支決算について
第2回 評議員会 出席32名 欠席8名	平成22年 12月21日(火) 江南市民体育会館	第9号 理事の選任について
第3回 評議員会 出席36名 欠席4名	平成23年 3月23日(水) 江南市民体育会館	第1号 平成22年度一般会計収支補正予算(第1号)について 第2号 平成23年度事業計画(案)について 第3号 平成23年度一般会計収支予算(案)について

監事会

会議区分	開催日時 開催場所	議 題 等
監事会	平成22年 5月14日(金) 老人福祉センター	平成21年度事業報告について 平成21年度一般会計収支決算について
中間監査	平成22年 11月29日(月) 老人福祉センター	平成22年度一般会計収支予算の中間監査について 平成22年度介護保険事業等経営推進について

(2) 社協会員の募集

区長・町総代のご協力のもと、一般会員、特別会員、法人会員の募集に努めた。また、市内福祉施設において施設会員、その他関係団体等においては特別会員の募集に努めた。

(3) 共同募金運動への協力

江南市共同募金委員会と連携し、10月1日から12月31日の共同募金運動期間に、区長・町総代のご協力のもと、戸別募金、法人募金を募り、市内学校においては学校募金へのご協力をお願いし、またボランティアの協力により市内スーパーや江南駅等での街頭募金を行い、民間の地域福祉財源の確保に努めた。

(4) ホームページによる情報提供の実施

インターネットを通じて情報を発信し、市民への情報提供に努めた。

2. 退職金積立事業

専任職員の退職手当の支給を円滑かつ効率的に行うため、全国社会福祉協議会が実施している全国社会福祉団体退職手当積立基金を活用し、退職金の積立（5名）及び退職した職員（1名）への退職金支給の財源のための手続きを行った。

3. 地域福祉活動事業

地域における生きがい活動と組織化を推進や、単独移動困難者への移送サービスの実施、民生委員児童委員協議会の活動に対して支援を行った。

(1) 高齢者ふれあい・いきいきサロンの実施

小地域（11サロン）において、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が気軽に出かけて仲間づくりを行ったり、活動等を行うことでいきいきと暮らせるための場づくりを実施した。

*ほのぼのサロン（H15.6～）

開催回数：月2回（第2・4金曜日）

開催場所：老人福祉センター

22年度実績：延べ810名（22回開催、平均36.8名）

*ひまわりサロン（H16.7～）

開催回数：月1回（第3水曜日）

開催場所：草井地区学習等供用施設

22年度実績：延べ407名（12回開催、平均33.9名）

*古東サロン（H17.7～）

開催回数：月1回（第1火曜日）

開催場所：古知野東公民館

22年度実績：延べ242名（12回開催、平均20.2名）

*3R宮田サロン（H18.8～）

開催回数：月1回（第3木曜日）

開催場所：宮田地区学習等供用施設

22年度実績：延べ246名（12回開催、平均20.5名）

*つるかめ教室（H18.6～）

開催回数：月2回（第1・3水曜日）

開催場所：愛栄ふれあいプラザ

22年度実績：延べ407名（20回開催、平均20.4名）

*花霞サロン（H17.8～）

開催回数：月1回（随時）

開催場所：随時決定（花霞集会所が使用できなくなったため）

22年度実績：延べ55名（7回開催、平均7.9名）

*菜の花サロン（H15.4～）

開催回数：月1回（第4木曜日）

開催場所：布袋ふれあい会館

22年度実績：延べ375名（11回開催、平均34.1名）

*松竹サロン（H18.7～）

開催回数：月1回（不定期）

開催場所：松竹住宅集会所

22年度実績：延べ478名（12回開催、平均39.8名）

*さわやかサロン（H20. 5～）

開催回数：月1回（第3水曜日）

開催場所：古西公民館

22年度実績：延べ144名（12回開催、平均12.0名）

*ジョイフルサロン（H20. 7～）

開催回数：月1回（第4水曜日）

開催場所：ジョイフル江南

22年度実績：延べ356名（12回開催、平均29.7名）

*上奈良気ままサロン（H22. 1～）

開催回数：月1回（第2月曜日）

開催場所：上奈良公民館

22年度実績：延べ336名（12回開催、平均28.0名）

（2）心に病のある方の居場所（フリースペース）づくりの実施

小地域において、心に病のある方が気軽に出入りして仲間づくりを行ったり、活動等を行うことでいきいきと暮らせるための場づくりを行政、学識経験者、関係機関・施設・団体、ボランティアと協働体制で実施した。

*ハートフレンズ（H20. 4～）

開催日：毎週金曜日

開催場所：愛栄ふれあいプラザ

22年度実績：延べ1,291名（51回開催、平均25.3名）

（3）移送サービスの実施

単独移動困難者を対象に、車いす対応福祉車両にて運転ボランティアの協力を得て実施した。

実施件数：延べ450件／年 利用者数：延べ1,025名／年（ヘルパー同乗者を含む）

4. ボランティアセンター活動事業

ボランティアセンターの機能強化を図り、市民のボランティア活動への理解と参加の促進に努めた。

（1）登録ボランティアグループへの活動支援

福祉を主たる目的とした登録ボランティアグループ（18団体）の支援と情報提供及びボランティア活動保険の加入促進を実施した。

- ・当事者とボランティアグループの交流会の支援

- ・当事者とボランティアグループの社会見学の支援
- ・ボランティアグループの研修支援
- ・ボランティア同士の交流を図るボランティアサロンへの支援

(2) 各種ボランティア関連講座の開催

ボランティアグループの協力により、各種講座を開催し、ボランティアの育成に努めた。

・点訳講習会の開催

点訳ボランティアグループたまづさ会の協力により、視覚障がい者への情報を点訳するためのボランティアを養成するために開催した。

開催日：5月12日～6月30日（計8回）

開催場所：老人福祉センター

内容：点字の基本的な打ち方について、視覚障がい者との交流

参加者：8名

・要約筆記奉仕員養成講座（基礎課程）の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記ボランティアを養成するために開催した。

開催日：6月5日～8月7日（計10回）

開催場所：老人福祉センター

内容：要約筆記の基本的な仕方について、難聴・中途失聴者との交流

参加者：3名

・要約筆記一日体験教室の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記を身近に感じてもらうために開催した。

開催日：8月21日

開催場所：布袋ふれあい会館

内容：要約筆記体験、難聴・中途失聴者との交流、ホワイトボードの作成等

参加者：4名

・福祉入門講座の開催

NHK学園サークルの協力により、「福祉」をテーマに、いきいきライフを実践するための講座を開催した。

開催日：9月15日～10月13日（計5回）

開催場所：老人福祉センター他

内容：講師を招いた講演会や施設見学、視覚障がい者のバイオリン演奏

参加者：34名

・社協国際婦人の会講座の開催

社協国際婦人の会の協力により、地域における隣人同士のつながりの良さを深めるために、各種講座を開催した。

開催日：①5月30日 ②7月29日 ③10月14日 ④1月25日 ⑤3月6日

開催場所：老人福祉センター他

内容：①タイ料理教室 ②紙すき体験 ③押し花手帳講座 ④健康体操
⑤中国帰国者との交流会

・障がい理解ボランティア講座の開催

福祉施設「くるみの里」の協力により、障がい者施設が求めるボランティアの役割や必要性を理解するために開催した。

開催日：2月5日、2月6日 2月27日

開催場所：くるみの里、老人福祉センター他

内容：施設での作業体験、岐阜駅までの電車乗車体験、クッキー作り体験

参加者：10名

(3) ボランティア相談の実施

ボランティア活動を始めたい人、ボランティアを必要としている人のコーディネートを実施した。ボランティア相談員会議を定期的で開催し、情報共有を図るとともに、出張ボランティア相談も実施しボランティア活動及び社協事業の啓発を行った

相談日：第2・4月曜日、毎週土曜日

(4) 西尾張ブロックボランティアフェスティバルの開催

全国ボランティアフェスティバルあいち・なごやの継承事業として、江南市社協は西尾張ブロック16市町村社協及びボランティア代表で組織された推進委員会の実行委員社協として、西尾張ブロックボランティアフェスティバル実行委員会のボランティア代表及び社協職員との連携を密にしながら当日のボランティアフェスティバルを盛大に実施した。

開催テーマ：「高めよう地域力 ～つなげて広げて支え合う～」

開催日：1月30日

開催場所：岩倉市総合体育文化センター、岩倉市ふれあいセンター

内容：午前 基調講演「エイジレス社会を求めて」 講師：伊東真理子 氏
午後 4つの分科会の開催

(5) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター運営委員による課題検討や事業報告、情報共有、意見交換等ボランティアに関わる事項についての協議を年6回開催した。

開催日：①5月8日 ②7月10日 ③9月11日

④11月13日 ⑤1月22日 ⑥3月12日

主な議題：①平成22年度ボランティアセンター関連事業について

- ②福祉ボランティアふれあいまつりの進捗状況について
- ③第3回福祉ボランティアふれあいまつり事業報告について
- ④西尾張ブロックボランティアフェスティバルの参加者募集について
- ⑤ボランティアセンター運営委員会の副運営委員長の選任について
- ⑥平成23年度のボランティアセンター関連事業について

(6) 第3回福祉ボランティアふれあいまつりの開催

江南市社協ボランティアセンター登録ボランティアグループによる実行委員会を設け、一般市民への福祉ボランティアの活動PRや会員募集に努めるとともに、ボランティアグループ間のつながりを築き、活動の連携を図ることを目的として実施した。

開催日：9月5日

開催場所：老人福祉センター

内容：ステージ企画（人形劇上演、手話コーラス実演）、ブース出展及びボランティア体験、クイズラリーの実施、ウェルカム企画（マジックバルーン）の実施

来場者数：約200名

5. 一般募金配分金事業

市民からの善意によって集められた共同募金に対し、本会は受配団体として、第2次江南市地域福祉活動計画の実践、地域福祉事業の実施や福祉団体への支援、福祉教育の推進、要支援者への援護等、あらゆる地域福祉の推進に努めた。

【第2次江南市地域福祉活動計画の実践】

(1) 「江南市成年後見センター設立準備会」の開催を経て、平成22年11月に「江南市成年後見センター」を立ち上げた。

<江南市成年後見センターの事業内容及び活動状況> (平成22年11月1日～平成23年3月31日)

- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用による相談及び手続に関する支援
- ・市長申立の事務支援
- ・法人後見人等の受任
- ・成年後見制度等の普及、利用の啓発
- ・その他センターの運営に関し、必要な事業

法人後見の受任	2件
成年後見申立の事務支援	6件
権利擁護に関する相談	22件
後見制度の普及・啓発	5件

(2) 第2次江南市地域福祉活動計画の概要版を作成し、全戸配布を行い市民への普及啓発を行った。

(3) 第2次江南市地域福祉活動計画に基づく実践の評価及び市民への啓発のために「江南市の地域福祉活動事例集」を作成し、関係者への配布を行った。

- (4) 第2次江南市地域福祉活動計画の進捗状況及び活動評価のために「江南市地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、協議を行った。

【本会事業の広報および情報発信事業の推進】

(1) 機関紙「社協だより」の発行

社会福祉協議会の事業等を市民に周知し、福祉への理解と関心を高めることを目的として年6回発行した。

発行日：①4月1日号（129号） ②6月1日号（130号） ③8月1日号（131号）
④10月1日号（132号） ⑤12月1日号（133号） ⑥2月1日号（134号）

発行先：市内全戸配布

内 容：平成22年度事業計画・収支予算、平成21年度事業報告・収支決算、社協会員募集のお願い、社協事業紹介、各種講座の参加者募集・事業報告、福祉関係団体に関する情報発信、社協職員による江南市内の福祉現場取材報告等

【高齢者福祉事業の推進】

(1) 敬老会の開催

江南市と共催により敬老会を実施し、祝い品の贈呈や記念式典を行った。

開 催 日：9月12日

開催場所：江南市民文化会館大ホール

対 象 者：75歳以上の9,539名に2枚1組のタオルを贈呈した。

(2) 満100歳誕生祝、数え100歳祝及び結婚50周年を記念した事業の実施

江南市と共催により祝意を表し、祝い品の贈呈を行った

満100歳－4名 数え100歳－17名 結婚50周年－147組

満100歳及び数え100歳は商品券、結婚50周年は夫婦湯のみを贈呈

(3) 高齢者団体への支援

江南市老人クラブ連合会や地区単位老人クラブへの団体活動支援及びスポーツ大会等の事業支援を行った。

【障がい児・者福祉事業の推進】

(1) 障がい者の余暇活動支援（青年学級）の実施

ボランティアグループ江南青年学級連絡会の協力を得て、障がい者の余暇活動を支援した。

実施件数：隔月1回の日曜日にて実施

(2) 公募制障がい児生活支援事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に地域でボランティア・市民活動団体等が資金援助を必要としている事業を公募し助成（公募性地域活動支援事業）を行った後、特に障がい児の地域生活支援に対し、継続性が必要な事業の支援を行った。

助成団体件数：2件

(3) 障がい者施設地域交流事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に江南市内の障がい者福祉施設が行う地域住民との交流を目的とした事業に助成を行い、地域における障がい者理解及び福祉施設における地域福祉推進を図ることを目的に実施した

助成施設件数：4件（ときわ会、くるみの里、しらゆり・ワーク、たけのこ作業所）

【児童・青少年福祉事業の推進】

(1) 江南市子ども会大会における優良子ども会顕彰の実施

江南市子ども会連絡協議会より優良子ども会の推薦を受け、顕彰を実施した
優良子ども会表彰：観音寺・若杉子ども会

(2) 児童公園遊具設置・補修支援事業の実施

区で管理する遊園地（公園）において、申請のあった区に対し、遊具の新規設置や補修に必要な費用を助成した。

助成自治区：古知野区愛栄町、赤童子東区、般若区、勝佐区、天王町区、飛高区中町

(3) 子どもわんぱくキャンプの開催

ボランティアグループ江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会の協力により、小学校4～6年生を対象とした1泊2日のキャンプを実施した。

開催日：8月7、8日

開催場所：夕森公園キャンプ場（中津川市）

参加者：22名

【母子・父子福祉事業の推進】

(1) 母子・父子家庭の小学校入学、中学校進学及び中学校卒業生徒の激励会の実施

開催日：2月27日

開催場所：老人福祉センター

対象者：小学校入学47名 中学校入学96名 中学校卒業109名

【福祉育成援助事業の推進】

(1) 公募制地域活動支援事業の実施

江南市内におけるボランティア・市民活動団体が行う事業や、草の根的な地域活動を実践する事業に対し公募にて申請していただき、プレゼンテーションによる審査会を実施し、団体が行う事業に対し共同募金の配分を実施した。

配分団体数：前期－8団体 後期－9団体

【福祉教育事業の推進】

(1) 江南市社会福祉協力校事業の実施

江南市内小学校10校、中学校5校、江南高等学校、尾北高等学校、古知野高等学校、愛

知江南短期大学を指定し、社会福祉体験活動を中心に取り組んだ。

(2) 福祉教育プログラム開発モデル事業の実施

平成17～18年度に愛知県社協より2年間指定を受けモデル事業を実施したが、19年度より江南市社協による継続事業とし、門弟山小学校を研究モデル校に指定し実施した。

プログラム内容：総合的な学習の時間における福祉学習プログラムサポート事業

研究指定校：門弟山小学校1～6年生

指定期間：1年間

(3) 福祉実践教室の開催

学校における福祉体験活動メニューとして、学校からの依頼を受け、講師派遣の調整を実施した。

科目及び実施回数：車いす10回、手話16回、要約筆記2回、点字13回、視覚障がい者ガイド11回、盲ろう者通訳ガイド3回、高齢者擬似体験10回、知的障がい者理解軽スポーツ3回

実施校及び実施生徒：延べ21校 延べ3,953名

(4) 夏休み福祉体験学習事業（短期ユースアクション事業）の実施

中学生・高校生を対象に夏休みに市内の福祉施設やボランティア活動などの福祉体験学習を実施した。

参加人数：延べ835名

(5) 子ども福祉塾の実施

小学校4～6年生を対象に車いす体験ツアーや福祉施設での当事者交流等の地域における福祉教育プログラムを実施した。

開催日：①9月19日 ②10月24日 ③11月21日 ④12月12日

⑤1月16日 ⑥2月20日 ⑦3月13日

内容：①「ふくし」ってなに？

②障がい児の子どもたちと交流しよう

③車いすで探検！ぼくたちわたしたちの街！

④知的障がい者と一緒に陶芸をしよう

⑤未来のあなたへタイムスリップ（高齢者擬似体験）

⑥人形を作って演じてみよう

⑦子ども福祉塾を振り返ろう

参加者：15名

(6) 社会福祉士実習及び訪問介護員同行の実習の受け入れ

江南市内在住、在学の学生を対象に、社会福祉士及び介護福祉士、ホームヘルパーの資格取得のための現場実習の受け入れを行い、学生への指導、評価を実施した。

社会福祉士 : 日本福祉大学 1 名
介護福祉士 : 愛知江南短期大学 1 2 名 古知野高等学校 3 9 名
ホームヘルパー : 尾北医師会 7 名

(7) 子どもフェスティバルへの参加

江南市と子どもフェスティバル運営協議会が主催した子どもフェスティバルに、江南市身体障害者福祉会聴覚部及びくるみの里の協力により福祉体験ブースを開設した。

開催日 : 5 月 2 3 日

開催場所 : すいとぴあ江南

内容 : 手話教室 (江南市身体障害者福祉会聴覚部の協力) 車いす教室 (くるみの里の協力)

【社会的支援が必要な方への相談・援護事業及び市民生活の支援】

(1) 無料法律相談の実施

高齢者と障がい者を対象とし、主に権利擁護を中心とした弁護士による無料法律相談を実施した。

相談件数 高齢者 : 2 1 件 障がい者 : 1 4 件

(2) 一時援護金貸付事業の実施

一時的に生活費に困っている方に 1 万円 (最高 2 万円) の貸付を行い、面接調査や生活指導を実施し、貸付対象者の生活状況の把握や自立支援に努めた。

2 2 年度貸付件数 : 1 0 1 件 相談件数 : 1 1 0 件

(3) 火事見舞金の支給

火事によって全焼及び半焼の被害があった世帯に対し見舞金の支給を行った。

2 2 年度支給件数 : 2 件

6. 歳末たすけあい配分金事業

市民からの善意によって集められた歳末たすけあい募金に対し、本会は受配団体として社会的支援が必要な方への生活支援及びボランティアやふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

(1) 歳末たすけあい募金配分金事業の実施

福祉的支援を必要とする方に対し、歳末たすけあい募金や市民福祉基金を活用し、金品 (江南市共通商品券) の配分金を平成 2 1 年度より増額し、配布にあたっては民生委員にご協力いただいた。またふれあい・いきいきサロンやボランティアグループの歳末事業に配分を実施した。

(2) 高齢者ふれあい食事会の開催

古知野第一地区民生児童委員のご協力をいただき、ひとり暮らし高齢者を主な参加対象とした食事会を実施した。余興では門弟山保育園の園児と交流を行った。

開催日：11月19日

開催場所：老人福祉センター

参加者数：127名

7. 福祉センター管理事業（市委託事業）

指定管理者として江南市老人福祉センター（1階）及び江南市中央コミュニティセンター（2階）の適切な管理・経営を実施した。

（1）老人福祉センター（1階）の利用状況

江南市内に居住する60歳以上の方が利用でき、健康の増進や教養の向上、老人クラブ等の地域間クラブ交流により、生きがいの場をつくることを目的に、老人福祉センターの会館管理を実施した。

（単位：名）

区分	個人	39,184	1日平均	140.7
	団体	9,482		
	合計	48,666		

※開館日数 346日

（2）中央コミュニティ・センター（2階）の利用状況

区会、町内会、老人クラブ、子ども会、各趣味の会等の各種コミュニティ組織によるコミュニティ活動を活性化し、地域住民が快適で健全な日常生活が過ごせるような生活環境の整備、向上に資することを目的に中央コミュニティ・センターの会館管理を実施した。

（単位：名）

利用月	第1和室	第2和室	会議室	集会室	講習室	実習室	計
4月	808	167	1,269	752	688	873	4,507
5月	913	88	1,454	701	579	1,036	4,771
6月	871	145	1,294	832	356	1,004	4,502
7月	986	151	1,725	677	486	1,039	5,064
8月	672	95	1,418	777	363	870	4,195
9月	819	110	1,414	813	712	898	4,766
10月	770	128	1,824	740	617	845	4,924
11月	819	140	1,337	681	615	853	4,445
12月	701	88	1,059	582	513	756	3,699
1月	627	73	1,069	566	521	751	3,607
2月	817	116	1,149	603	571	926	4,182
3月	938	96	1,515	719	682	1,043	4,993
計	9,741	1,397	16,527	8,443	6,653	10,894	53,655
1日平均	28.2	4.0	47.8	24.4	19.2	31.5	155.1

※開館日数 346日

(3) 老人福祉センター健康相談実績

老人福祉センターに看護師を配置し、希望する利用者の血圧測定等を実施するとともに健康に関する相談を行った。

合計	13,082名	1日平均	37.8名	健康相談	346日
----	---------	------	-------	------	------

8. 生活支援通所事業（市委託事業）

高齢者生活支援通所事業の受託運営を推進した。

(1) 生活支援通所事業（デイサービス）利用状況

家に閉じこもりがちな65歳以上の高齢者に対し、車での送迎を行い、生活指導や健康状況確認、趣味の活動等を実施し、生きがいのある生活を送るための支援を行った。

延べ利用者数	555名	1日平均	4.9名	開館日	114日
--------	------	------	------	-----	------

9. ホームヘルパー派遣事業（市委託事業）

ホームヘルパー派遣事業の受託事業を推進した。

(1) ホームヘルパー派遣世帯数及び延べ派遣時間数

在宅のひとり暮らしの高齢者等で、介護保険の要介護認定で非該当（自立）と判定された方で生活上の支援が必要な方に、ホームヘルパー派遣を実施した。

利用者数	延べ 475名	派遣時間数	2,321時間40分
------	---------	-------	------------

(2) リフォームヘルパー派遣事業実績

日常生活を営むのに支障がある高齢者及び身体障がい者の方がいる家庭で、居宅などの改修を支援した。

(単位：件)

	工事完了					相談中	計
	介護保険	介+高・障	高・障	相談のみ	計		
高齢者	0	49	0	0	49	0	49
障がい者	0	0	12	0	12	0	12
計	0	49	12	0	61	0	61

(注1) 介+高・障(介護保険該当者高齢者と障がい者)とは介護保険の住宅改修の支給に合わせて、市の住宅改修助成を受けた方

(注2) 高・障(高齢者と障がい者)とは、介護保険対象外で市の住宅改修助成を受けた方

10. 訪問介護事業

介護保険法及び障害者自立支援法に基づき、ホームヘルパーによるサービス提供を実施し、利用者の地域自立生活の支援を実施した。

(1) 介護保険 訪問介護(ホームヘルパー派遣) 事業実績

介護保険の要介護の認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の月別の利用状況です。

月	派遣時間数					
	人数	介護予防	人数	介護保険	人数計	計
4	36	334:20	45	968:32	81	1302:52
5	38	333:35	43	881:34	81	1215:09
6	36	348:05	43	915:57	79	1264:02
7	38	375:32	44	975:45	82	1351:17
8	40	381:45	43	956:07	83	1337:52
9	39	360:55	44	894:54	83	1244:01
10	38	302:50	45	941:11	83	1255:49
11	40	320:30	43	932:52	83	1253:22
12	40	336:54	43	901:27	83	1238:21
1	38	298:30	42	854:28	80	1152:58
2	38	307:10	43	808:12	81	1115:22
3	38	347:05	41	920:14	79	1267:19
計	459	4047:11	519	10951:13	978	14998:24

(2) 障害者自立支援事業 訪問介護(ホームヘルパー派遣) 事業実績

身体・知的障がい児、者及び精神障がい者の方が江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の月別の状況です。

月	人数	派遣時間数						
		身体障がい者	知的障がい者	障がい児	精神障がい者	重度訪問	移動支援	計
4	41	327:20	103:20	12:00	91:50	148:20	25:40	708:30
5	41	325:30	99:55	12:00	84:20	133:00	17:30	672:15
6	38	334:00	106:20	12:00	98:20	115:30	26:30	692:40
7	36	338:05	105:30	12:00	104:10	120:15	15:50	695:50
8	39	340:45	106:30	10:00	83:10	119:30	19:50	679:45
9	38	371:15	103:50	3:00	77:20	116:20	21:00	692:45
10	40	355:50	102:30	9:00	75:55	118:55	45:30	707:40
11	45	392:13	114:20	6:00	82:30	117:40	32:15	744:58
12	41	425:30	127:10	6:00	85:30	120:10	39:30	803:50
1	39	332:23	128:54	9:00	81:25	120:00	32:00	703:42
2	39	338:13	128:15	12:00	90:05	108:00	12:20	688:53
3	37	373:50	128:25	9:00	110:00	121:05	10:30	752:50
計	474	4254:54	1354:59	112:00	1064:35	1458:45	298:25	8543:38

(3) 処遇改善事業の実施について

愛知県介護職員処遇改善交付金事業及び愛知県福祉介護人材の処遇改善事業助成金事業から、福祉・介護職員の賃金改善に充当するための交付金（助成金）を受給すること等により、介護職員（ホームヘルパー）の処遇改善を図った

処遇改善の内容 ①賃金改善

②介護職員の処遇 教育、研修、職場環境等の改善

1 1. 地域福祉サービスセンター事業

市民の誰もが住みなれたところで、必要なときに福祉サービスが受けることができるように、地域福祉サービスセンター事業として、相談援助を実施するとともに、関係機関との連絡調整を図り、また福祉カルテへ登録している利用者に対して、福祉情報の提供や定期的に訪問し状況把握に努めた。

(1) 地域福祉サービスセンター事業における福祉カルテ登録状況

○カルテ登録者内訳

(単位：名)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	計
障がい者	58	30	25	10	123
障がい児	4	6	0	3	13
計	62	36	25	13	136

○支援方法

(単位：件)

訪問	来所相談	電話相談	個別支援会議	関係機関	計
712	85	711	26	588	2,122

○支援内容

(単位：件)

福祉サービス利用支援	健康・医療に関する支援	不安解消情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	家族関係、人間関係に関する支援	計
1,486	25	268	11	98	81	32	4	108	9	2,122

12. 居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、ケアマネージャーがケアマネジメントを実施し、ケアプランの作成等の居宅介護支援を実施し、利用者の地域自立生活の支援を実施した。

(1) 介護保険 居宅介護支援事業実績

介護保険の要介護認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の居宅介護支援（ケアプラン作成、ケアマネージャー業務）のサービスを利用された方の月別の利用状況です。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防	23	22	21	19	20	18	18	18	19	18	18	18	232
介護保険	79	77	78	81	79	81	78	81	76	77	78	82	947
計	102	99	99	100	99	99	96	99	95	95	96	100	1179

(2) 市受託事業

◎介護保険 訪問調査事業実績（介護保険認定審査会の第一次判定資料作成業務）

・江南市 年間延べ 111件

13. 暮らし資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会が実施する、暮らし資金貸付事業の相談窓口として、適正な事業運営を実施し、貸付対象者の生活状況の把握及び自立支援に努めた。

14. 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会が実施する、低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯、離職者世帯への資金の貸付の相談窓口として、適正な事業運営を実施し、貸付対象者の生活状況の把握及び自立支援に努めた。

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯への各種資金の貸付と民生委員の協力による生活指導の実施を行った。

22年度貸付件数：21件 現在の貸付件数：57件（内 総合支援資金25件）

22年度相談件数：118件

15. 市民福祉基金事業

相互扶助の高揚と寄付の啓発を図るとともに、市民福祉基金の有効な運用や活用に努めた。

16. 企画・広報事業

法人設立30周年記念式典として、5年に1度開催する「江南市社会福祉大会」開催した。

(1) 法人設立30周年記念江南市社会福祉大会の開催

開催日：10月23日

開催場所：江南市民文化会館小ホール

参加者数：300名

内容：記念式典、江南市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状の贈呈

基調講演 「うっかり八兵衛の「元気」になる話」

講師：高橋元太郎 氏

(2) 法人設立30周年記念誌「福祉のあゆみ」の作成

法人設立30周年記念誌である「福祉のあゆみ」を500部作成し、関係者に配布した。